

平鹿総合病院 介護専門医療連携 ニュース

発行日 平成 25年 11月 第69号

日頃、地域医療連携室にご支援・ご協力をいただきありがとうございます。

高齢化に伴い医療と介護の連携に関する問題は、ますます増大することが予想されます。医療と介護の連携を強化し、退院支援における問題点や解決策を共に検討するため、「介護支援専門員さんと語る会」を開催いたしました。

今回は、会の概要と参加者を対象にしたアンケート結果についてご報告いたします。

地域医療連携室 大沢 知佳

介護支援専門員さんと語る会

日 時：平成25年10月31日(木)17時00分～18時30分

場 所：平鹿総合病院 講堂

目 的：医療と介護の連携の在り方を考える

形 式：ワールド・カフェ

テーマ：「医療と介護の連携に何が必要か？」

参加者：介護支援専門員 26名 看護師 27名 計53名

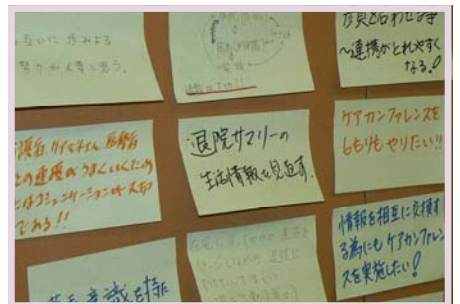
初回の開催にあたり、職域を超えた話し合える関係を築くことを主旨として、ワールド・カフェ形式での話し合いを試みました。リラックスした雰囲気の中、多くの意見が出され、「お互いに必要な情報を理解する」「顔の見える関係をつくる」ことの大切さを確認し合いました。

ワールド・カフェとは？

カフェで行うようなオープンで自由な会話を通してこそ、生き活きとした意見交換や新たな発想の誕生が期待できるという考え方に基づいた話し合いの手法



情報共有！コミュニケーションは明日を開く！



アンケート結果

